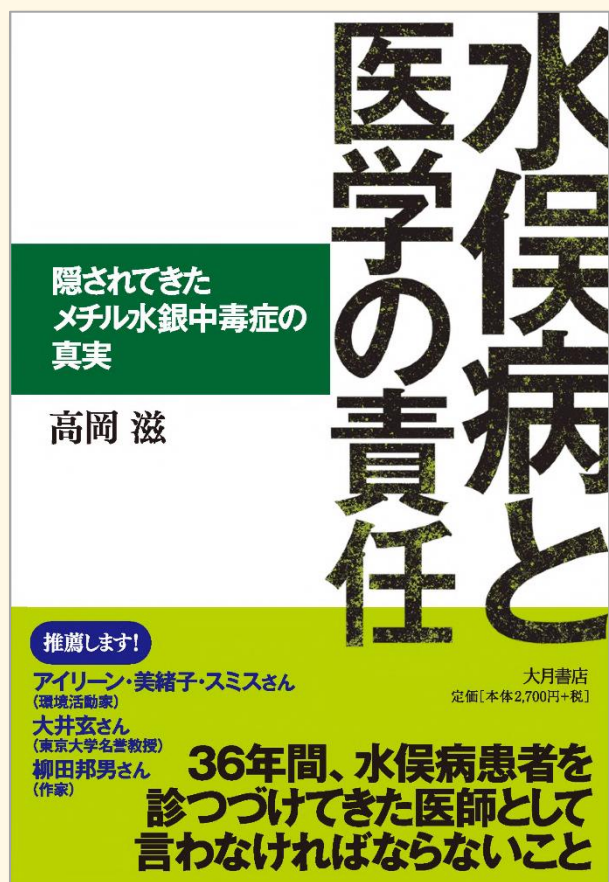


ご紹介いたします

この本を読まずに、もう水俣病を語ることはできない 医学・公衆衛生学とは何かを問い直す



主要目次

- 第1章 水俣病発生時の医学者たち
——水俣病の発見～原因物質の究明
- 第2章 変節を遂げる医学者たち
——水俣病終息説～「昭和52年判断条件」
- 第3章 患者に向き合う「医師団」の誕生
- 第4章 水俣病医学、誤りのスパイラル
——「昭和52年判断条件」の呪縛
- 第5章 医師として水俣病に向き合い続けた36年
- 第6章 知られざる水俣病＝メチル水銀中毒症の病態
- 第7章 今なお続く医学者たちの誤り
- 第8章 医系技官という存在
- むすび 未来に向けて水俣病から学ぶ

12月15日刊行

46判上製 292頁 定価 2,970円(税込み)

ISBN 978-4-272-36099-4

アイリーン・美緒子・スミスさん（環境活動家）

高度経済成長の負の遺産、水俣病。SDGsが喫緊の課題である今こそ、この甚大な中毒事件に対する日本の医学と公衆衛生学の半世紀の怠慢を暴露する時。これは重要な書籍だ。

大井玄さん（東京大学名誉教授）

水俣病とその軌跡を見てきた者にはそれを伝える責任が生じる。本書はそれを見事に果たしている。

柳田邦男さん（作家）

水俣病は、人類生存にかかわる環境保全考察の原点。行政（権力）と医学（権威）によって歪められた真実をただすべき今、本書は歴史書き換えの構図を鮮やかに描き出してくれた。

【著者】高岡滋（たかおか しげる）

1961年、山口県岩国市生まれ。1985年、山口大学医学部医学科卒業。1991～93年、順天堂大学脳神経内科にて神経内科研修。1993年、水俣協立病院院長。2002年、神経内科リハビリテーション協立クリニック院長。専門は、一般内科、神経内科、リハビリテーション科、精神科。日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会神経内科専門医、日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医、日本医師会産業医、臨床心理士。ノーモア・ミナマタ国賠訴訟など各地の水俣病訴訟での原告患者側証人。

【お問い合わせ】 大月書店 編集部 担当:角田三佳 TEL03-3814-2931 Email: kadota@otsukishoten.co.jp